

令和8年2月6日

六本木七丁目・西麻布・南青山・北青山に
お住まいの皆様

「赤坂プレスセンターに離発着する米軍ヘリコプターの飛行に関するアンケート」ご協力のお願い

港区には、23区で唯一、ヘリポート機能を有する米軍基地である「赤坂プレスセンター」（港区六本木七丁目）があり、事務所（星条旗新聞社、宿舍、ヘリポート）として使用されています。

これまで、区は区議会とともに、ヘリポートに離発着する米軍ヘリコプターによる騒音や振動、事故発生の不安を取り除き、区民の安全で安心できる生活を守るため、基地の早期撤去に向けた要請行動を継続して実施してきました（詳しくは同封のリーフレット「港区の米軍基地」をご覧ください）。令和2年3月以降は、区が固定化回避を求めている羽田新飛行経路の下を米軍ヘリコプターが飛んでいる状況にもあります。

今後、区が基地の撤去を求めていくに当たり、周辺や米軍ヘリコプターの主な航路下にお住まいの皆さんが、米軍ヘリコプターの音・振動・事故への不安についてどのように感じているか、ぜひお聞かせください。

港区総務部人権・男女平等参画担当

回答にあたって

- ▶ 二次元コードを読み取るか、URLからアクセスし、インターネット上で回答してください。
- ▶ インターネットでの回答が難しい場合は、同封の調査票に回答を記入し、返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。
- ▶ 世帯主様宛てにお送りしておりますが、どなたがご回答いただいても結構です。
- ▶ 回答は無記名です。回答者個人が特定されることはありません。

インターネットでの回答はこちらから

対象地域
住民回答用
二次元コード

<https://>（回答フォームURL）

回答期限

令和8年2月23日(月)まで

問合せ 総務課人権・男女平等参画係
電話 03-3578-2025

（裏面あり）

米軍ヘリコプターについて

現在、区内を飛行していると思われる主な米軍ヘリコプターの形状は以下の写真のとおりです。



(写真提供：麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会)

東京消防庁のヘリコプターについて

米軍ヘリコプターの他に、東京都が在日米軍と協定を結び、赤坂プレスセンターのヘリポートを使用して、東京消防庁のヘリコプター（赤い機体に白いライン）による島しょ部からの救急患者の搬送を行っています。

区は、緊急時の対応と理解していますが、このことが基地の恒久化につながる懸念を東京都に伝えています。また、東京都も、現在のヘリポート使用は、基地の返還が実現されるまでの間の暫定的な活用としており、区と同じく基地の全面返還を国に求めています。

災害時のヘリポート使用について

東京都は「東京都地域防災計画」において、赤坂プレスセンターを含む米軍基地の活用について記載しています。

区は「港区地域防災計画」において、赤坂プレスセンターについての記載はしていませんが、ヘリコプターによる救援物資や人員の緊急空輸を考慮して、災害時臨時離着陸場候補地を5か所（芝公園グランド、区立麻布野球場、迎賓館ヘリポート、東京海洋大学グランド、聖心女子学院）選定しています。

赤坂プレスセンターに関する最近の出来事

赤坂プレスセンターのヘリポートは、令和7年10月のトランプ大統領来日時に、大統領専用ヘリコプター「マリーンワン」の離発着に使用され、数多く報道されました。10月27日（月）羽田空港からの移動時、10月28日（火）高市早苗首相を乗せての米海軍横須賀基地への移動時に使用されました。